

経済経営学部 マネジメント学科

教育理念、人材養成の目的、教育方針(三つのポリシー)

教育理念

【経済経営学部】 生涯学び、成長し続けられる人材の養成をとおして、誰もが活躍できる社会の構築と発展に寄与する。
【マネジメント学科】 社会・組織・自己をマネジメントする力を身につけた人材の養成をとおして、誰もが安心して暮らせる社会の実現を目指す。

人材養成の目的

【経済経営学部】 広い知識と視野を持ち、他者と協働して課題を発見し解決することを通じて、健康な社会及び健全な組織の実現に貢献できる人材を養成する。
【マネジメント学科】 マネジメント5分野(経営学、会計学、情報学、法学、経済学)の知識と技能を備え、社会・組織・自己における諸課題を多角的に捉え解決できるマネジメント力を持つ人材を養成する。

1. 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー:DP)

【経済経営学部】

本学部及び各学科の人材養成の目的に沿って、各学科で示されたディプロマ・ポリシーの要件を満たし、所定の単位を修得した者に、学位を授与する。

【マネジメント学科】

人材養成の目的に沿って、以下の要件を満たし、所定の単位を修得した者に、学士(マネジメント学)の学位を授与する。

(知識・技能)

(1) 社会の一員として必要となる幅広い知識と技能を備えている。

(2) マネジメント5分野の専門知識と技能を備えている。

(思考力・判断力・表現力)

(3) 情報を収集・分析し、課題を発見する力を身につけている。

(4) 課題解決に至る道筋を論理的に考える力を身につけている。

(5) 課題の背景、解決策及びその効果を正しく相手に伝える力を身につけている。

(主体性・多様性・協働性)

(6) 自分の考えや判断に基づいて行動し、その結果に責任を持つことができる。

(7) 多様な個の存在を認め、尊重することができる。

(8) 他者と協働し、課題を解決することができる。

2. 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー:CP)

【経済経営学部】

本学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる人材を養成するため、各学科でカリキュラム・ポリシーを定める。

【マネジメント学科】

(教育課程編成)

人材養成の目的を達成するために、以下の方針に基づいて教育課程を編成する。

また、学生の履修を支援するため、シラバスとともに科目間の連携や学修の順序をカリキュラム・マップやカリキュラム・ツリー、履修モデル等で明示する。

(1) 視野を広げ、知識への好奇心を高めるとともに、アカデミック・スキルを育成するために、「一般教育科目群」を配置する。

(2) 自ら情報を収集・分析し、根拠に基づき解決策を提案する力を育成するために、「データサイエンス・AI科目」を配置する。

(3) 自己を内省し、他者と協働する力を養うために、「リーダーシップ・キャリア形成科目」を配置する。

(4) マネジメント5分野の専門知識と技能を修得し、課題発見、課題解決に応用する力を育成するために、「専門科目」を配置する。

(5) 社会変化を敏感に捉え、新たな社会構築に積極的に貢献できるよう、マネジメントに関連する幅広い知識や技能を修得するために、「展開科目」を配置する。

(6) 目標達成や課題解決に向けて自らの役割を果たす力を育成するために、「演習科目」を配置する。

(学修方法)

(1) 「専門科目」の主要分野を横断的に履修するとともに、複数分野についての専門性を深め、単一分野の学部では身につけられない学際的な専門知識・技能の修得を目指す。

(2) 多様な人々と協働する力、自らの考えを表現・発信する力、自ら踏み出す力を育成するために、能動的学修を促進する。

(学修成果の評価)

(1) 授業の到達目標に対応した評価方法を導入し、教育方法の改善及び厳格な成績評価を行う。

(2) ディプロマ・ポリシーで示された資質・能力の達成状況を確認するために、卒業研究を実施し、総括的評価を行う。

3. 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー:AP)

【経済経営学部】

本学部では、ディプロマ・ポリシーに示した資質・能力を身につけている学生の育成を目指し、各学科でアドミッション・ポリシーを定める。

【マネジメント学科】

経済経営学部マネジメント学科では、健康な社会及び健全な組織の実現に貢献する「マネジメント力」を持った人材を養成するために、以下の能力・意欲を持った人を広く受け入れる。なお、入学者選抜においては、多様な選抜方法により、多面的・総合的に評価する。

・マネジメント学科が求める学生像

(知識・技能)

(1) 高校3年間を通じて幅広い学習を行っており、特に、英語・国語・数学に関して基礎的な知識・技能を身につけている人

(思考力・判断力・表現力)

(2) 物事を多面的に捉えることができる人

(3) 自分の考えや意見を述べるができる人

(主体性・多様性・協働性)

(4) 経験をふりかえり、自分の言葉で表現できる人

(5) 目標を達成するために、他者と協力して行動できる人

(6) マネジメント力を身につけようとする明確な意思を持っている人